

事務事業名	新幹線小山駅増便促進期成同盟会参画事業				担当	総務部 企画課 企画調整係	
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			電話番号	0285-83-8102	
施策名	6	公共交通ネットワークの整備			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成17 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1総務管理費	6企画費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	本協議会は、東北新幹線の小山駅停車の増便を促進し、小山駅に接続する宇都宮線沿線、両毛線沿線、水戸線沿線地域の調和ある発展と地域住民の利便性向上を図るため設立され、関係機関への陳情や目的達成のための調査研究などを行っている。 会員は小山、栃木、佐野、足利、真岡、結城、筑西、下野の各市の市長、議長、商工会議所会頭。会長は小山市長。負担金額は10,000円 / 年。						

1. 現状把握の部 （1）事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 会議への参加 25年度計画 会議への参加 陳情活動への参加	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称単位21 年度(実績)22 年度(実績)23 年度(実績)24 年度(実績)25 年度(見込) ア 会議参加回数回11121 イ ウ エ オ
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 新幹線小山駅停車増便期成同盟会 新幹線運行事業者（JR東日本）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称単位21 年度(実績)22 年度(実績)23 年度(実績)24 年度(実績)25 年度(見込) ア 新幹線小山駅停車増便期成同盟会会員数団体2424242424 イ 事業者数社11111 ウ エ オ
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 同盟会の活動が円滑に進むよう支援する 新幹線の小山駅停車増便を働きかける	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称単位21 年度(実績)22 年度(実績)23 年度(実績)24 年度(実績)25 年度(見込) ア 陳情実施件数件11111 イ 新幹線小山駅停車割合（上り）本28/7628/7628/7628/7628/76 ウ 新幹線小山駅停車割合（下り）本27/7627/7627/7627/7627/76 エ オ
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 新幹線の小山駅停車が増便され、利用者の利便性が向上する。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称単位21 年度(実績)22 年度(実績)23 年度(実績)24 年度(実績)25 年度(見込) ア バス・鉄道の利用しやすさ（満足度）%19.5-16.319.5 イ ウ エ オ

(2) 総事業費の推移				単位	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	10	10	10	10	0
			事業費計（A）	千円	10	10	10	10	0
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
			延べ業務時間	時間	8	8	8	8	0
			人件費計（B）	千円	32	34	34	34	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円	42	44	44	44	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	小山市長から働きかけがあり、平成17年8月18日に同盟会が設立された時から参加している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？	平成18年度から下野市が会に加入した。 平成18年度、上りが1便増え29便となったが、翌年度のダイヤ改正で再び28便になった。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1 次評価の部 ＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 鉄道利用者の利便性向上に繋がるものであり、市の政策体系に合致している。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 新幹線が小山駅停車を増やすことは鉄道利用者の利便性向上に繋がるものであり、市が行う事業である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 新幹線小山駅停車を増やす為に同盟会を通じて鉄道事業者に働きかけることは妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 同盟会の目的である陳情活動を行っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 新幹線小山駅停車を増やすことを働きかける機会が減る。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は会の負担金であり、総会で定めている。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 負担金の支出事務や会議等への参加の為の最少限度の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 新幹線小山駅停車増便期成同盟会の活動は市民全体の利便性向上に繋がるものである。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の 2 次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2 次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項																							
(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							